

科目・コース（ユニット）名： 呼吸器【医学3】

英語名称：Pulmonary Medicine

【担当責任者】

柴田陽光(呼吸器内科学講座)、谷野功典（内科分野）、岡部直行（外科分野）千葉英樹（病理分野）

【連絡先】

呼吸器内科：内線 2523、外線 024-547-1360, pulmo@fmu.ac.jp

呼吸器外科：内線 2330、外線 024-547-1252, chest@fmu.ac.jp

基礎病理学：内線 2191、外線 024-547-1169, p2@fmu.ac.jp

【開講年次】3 年、【学期】前期、【必修／選択】必須、【授業形態】講義／演習／実習

【概要】

呼吸器系の構造と機能、ならびに各種呼吸器疾患の病態・病理・診断・治療等につき、系統のかつ包括的に学習します。呼吸器内科学、呼吸器外科学、病理学を統合したカリキュラムとなっており、各分野の教官が協力して講義ならびに実習を行います。各領域の講義と実習が系統的に順序立てて組み合わされているので、欠席することなく継続的に授業に参加することが大切です。欠席すると次の講義や実習で十分な学習をすることが難しくなるので注意が必要です。

【学習目標】

★一般目標

肺・胸郭・呼吸調節系の構造と機能を基礎に、呼吸器疾患における主要症状・徴候の発現機序や各種呼吸器疾患の病態・病理を学び、最終的には疾患の診断ならびに治療法を理解することで、BSL（プライマリーコース）への基盤とする。

★行動目標

1. 肺および胸郭系の主要構造を列挙し、肺の生理学的機能との関連性を説明できる。
2. 呼吸器疾患の主要症状と徴候を列挙し、その発生機序を説明できる。
3. 呼吸器疾患診断のための各種検査法を具体的に説明し、その適用を定める事ができる。
4. 呼吸器疾患を機能的・形態的・病理学的に分類できる。
5. 主要呼吸器疾患の診断プロセスを組み立てることができる。
6. 主要呼吸器疾患の治療法とその適応を説明できる。

【教科書】

呼吸器学講義資料を配布するが、テキストとして「内科学」（朝倉書店）を指定する

【参考書】

1. 「呼吸器外科学」 監修：正岡昭、編集：藤井義敬
2. 「呼吸器外科テキスト」 編集：日本呼吸器外科学会、呼吸器外科専門医合同委員会
3. 「ロビンス基礎病理学」(丸善出版)
4. 「最新呼吸器内科・外科学」 監修：伊達洋至、平井豊博

【成績評価方法】

① ～③により総合的に判定する

①出席回数 (2/3 以上に受験資格を与える) (2/3 未満は不可判定となるので注意)。呼吸器病理では、計 12 回の講義・実習のうち 8 回以上出席した学生に受験資格を与える。

② 授業・実習態度

③ 呼吸器学試験：筆記試験については、呼吸器内科、呼吸器外科および病理のそれぞれの領域で個別に判定し、合格判定基準を満たした場合をコースの合格とする。不合格時には個別の不合格領域において再試験を実施する。

【学習上の注意事項】

- ① 講義と実習ですべてをカバーすることは不可能です。不足分を補うために講義資料を配布するので、これを参考に自学自習を心がけること。
- ② 講義・実習などが一日の中でも系統的に組み合わされている。授業への遅刻・欠席は学習の大きな妨げとなることに注意すること。
- ③ 呼吸器病理の講義及び実習は、組織病理学実習室で行われる。その他の講義は講義室(第3講義室)で行われる。

【垂直的統合授業の実施内容】

コースにおいて、呼吸器の内科、外科、病理学の統合型講義を実施する。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】稀少呼吸器疾患の授業において、最先端のトランスレーショナル研究を解説する。

【授業スケジュール】2026 年 (R8 年)

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容 病理の講義及び実習は <u>組織病理学実習室</u>	担当教員名
1	26/4/6	月	1	(講) 呼吸器系の構造と機能：形体と働きを考える	柴田 (内科)
2	26/4/6	月	2	(講) 呼吸器系の画像検査：画像から診断へ	金沢 (内科)
3	26/4/6	月	3	(講) 呼吸機能検査	柴田 (内科)
4	26/4/13	月	1	(講) 血液ガス検査：肺ガス交換と酸塩基平衡	柴田 (内科)
5	26/4/13	月	2	(講) 気管支鏡検査：気管支鏡を用いた診断	金沢 (内科)

6	26/4/13	月	3	(講) 呼吸器感染症 1 : 総論、細菌・ウイルス	柴田 (内科)
7	26/4/20	月	1	(講) 気管支喘息 (1) : 概念・診断	鈴木康 (内科)
8	26/4/20	月	2	(講) 気管支喘息 (2) : 治療	鈴木康 (内科)
9	26/4/20	月	3	(講) 呼吸器感染症 2 : 真菌・抗酸菌	谷野 (内科)
10	26/4/27	月	1	(講) 慢性閉塞性肺疾患 COPD : 概念・診断・治療	柴田 (内科)
11	26/4/27	月	2	(講) 急性・慢性呼吸不全 (急性肺障害を含めて)	谷野 (内科)
12	26/4/27	月	3	(講) 間質性肺疾患 1 : IIPs IPF・膠原病肺	谷野 (内科)
13	26/5/11	月	1	(講) 間質性肺疾患 2 : 過敏性肺炎など	谷野 (内科)
14	26/5/11	月	2	(講) 肺癌 1 : 診断	金沢 (内科)
15	26/5/11	月	3	(講) 肺癌 2 : 治療総論 (内科的治療)	金沢 (内科)
16	26/5/13	水	1	(講) 免疫性肺疾患 2 : サ症、ABPA 等	佐藤佑 (内科)
17	26/5/13	水	2	(講) 肺血管系疾患 : 肺血栓塞栓症、肺高血圧症	佐藤佑 (内科)
18	26/5/13	水	3	(講) 稀少呼吸器疾患 (PAP, LAM, PLCH 等)	柴田 (内科)
19	26/5/18	月	1	(講) 肺癌 3 : 肺癌の外科的療法	岡部 (外科)
20	26/5/18	月	2	(講) 良性肺腫瘍 : 診断と治療	岡部 (外科)
21	26/5/18	月	3	(講) 胸膜・縦隔疾患 : 診断と治療	岡部 (外科)
22	26/5/20	水	1	(講) 正常肺と閉塞性肺疾患、免疫性肺疾患の病理	千葉 (病理)
23	26/5/20	水	2	(実) 正常肺と閉塞性肺疾患、免疫性肺疾患の病理	千葉 (病理)
24	26/5/20	水	3	(実) 正常肺と閉塞性肺疾患、免疫性肺疾患の病理	千葉 (病理)
25	26/6/10	水	1	(講) 呼吸器感染症の病理	千葉 (病理)
26	26/6/10	水	2	(実) 呼吸器感染症の病理 (実習 1)	千葉 (病理)
27	26/6/10	水	3	(実) 呼吸器感染症の病理 (実習 2)	千葉 (病理)
28	26/6/17	水	1	(講) 呼吸器系腫瘍の病理	千葉 (病理)
29	26/6/17	水	2	(実) 呼吸器系腫瘍の病理	千葉 (病理)
30	26/6/17	水	3	(実) 呼吸器系腫瘍の病理	千葉 (病理)
31	26/6/24	水	1	(講) 肺の循環障害・DAD・特発性間質性肺炎・塵肺症の病理 (講義)	千葉 (病理)
32	26/6/24	水	2	(実) 肺の循環障害・DAD・特発性間質性肺炎・塵肺症の病理	千葉 (病理)
33	26/6/24	水	3	(実) 肺の循環障害・DAD・特発性間質性肺炎・塵肺症の病理	千葉 (病理)
34	26/7/1	水	1	統合型講義 1 「肺野異常陰影で受診した男性」	峯村・渡部・小林
35	26/7/1	水	2	統合型講義 2 「肺野異常陰影で受診した男性」	峯村・渡部・小林
36	26/7/1	水	3	統合型講義 3 「肺野異常陰影で受診した男性」	峯村・渡部・小林

【担当教員】

教員氏名	職	所属
柴田陽光	教授	呼吸器内科
鈴木弘行	教授	呼吸器外科
千葉英樹	教授	基礎病理学
濱田和幸	教授	呼吸器外科
岡部直行	准教授	呼吸器外科
谷野功典	病院教授	呼吸器内科
金沢賢也	講師	呼吸器内科
鈴木康仁	講師	呼吸器内科
佐藤佑樹	助教	呼吸器内科
峯村浩之	学外講師	呼吸器内科
渡部晶之	助教	呼吸器外科
小林靖幸	助手	基礎病理学

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

呼吸器内科と呼吸器外科の医師として実務経験のある教官が講義を実施する。